

高岡市多文化共生に関するアンケート 回答結果

概要版 No. 1 外国籍市民

対象者 外国籍市民 2,000 人（無作為抽出）

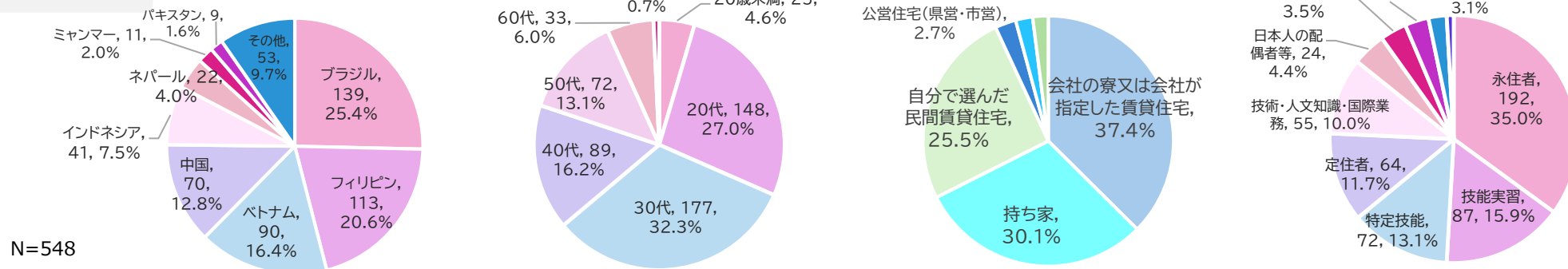
調査期間 令和 8 年 1 月～2 月

回答方法 郵便配送。回答はオンライン

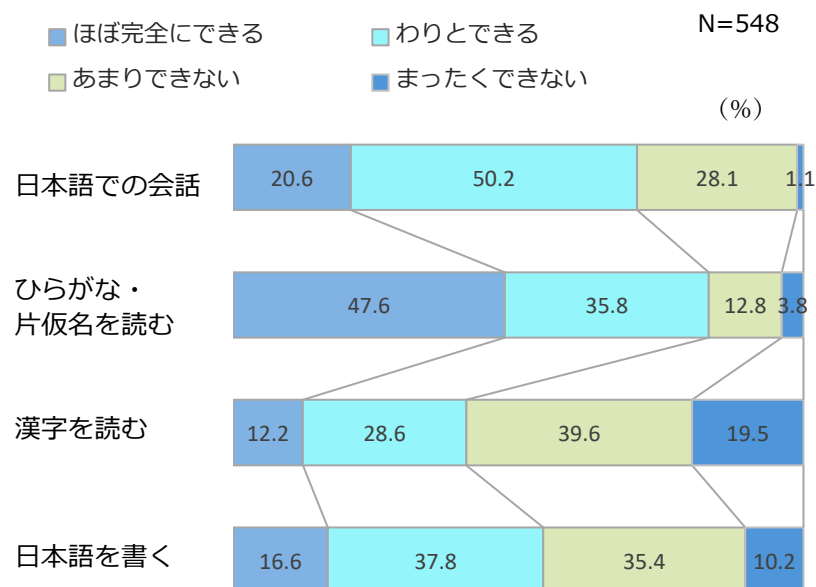
言語 日本語、やさしい日本語、英語、ポルトガル語、ベトナム語、中国語

有効回答 548 件：回答率 27.9%（不達数 33 件）

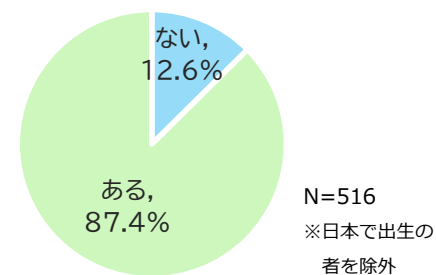
回答者属性



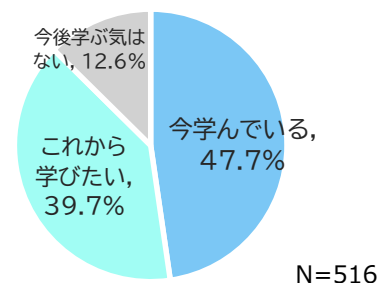
日本語の能力



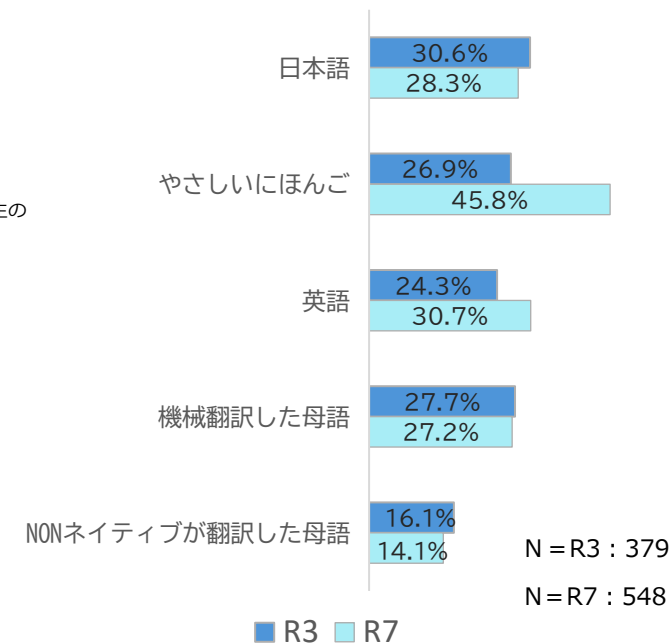
日本語の学習経験



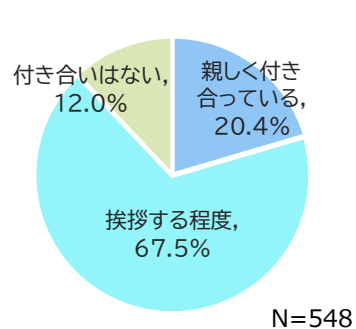
日本語の学習状況と今後の希望



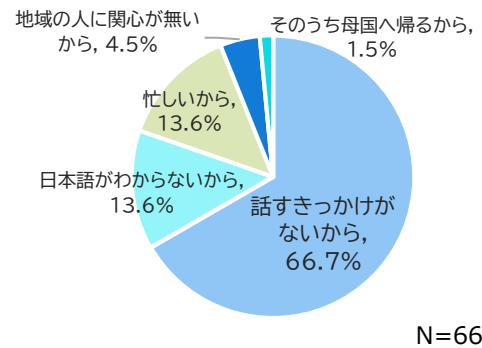
市からのお知らせで希望する言語（複数選択）



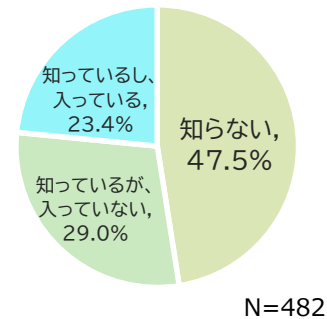
地域の日本人との付き合いの有無



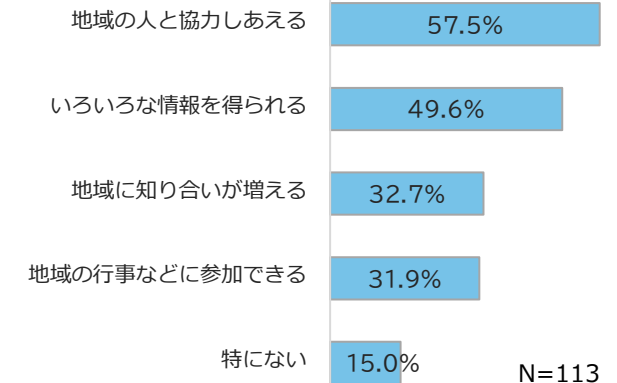
「全く付き合いが無い」人の理由



自治会の認知度

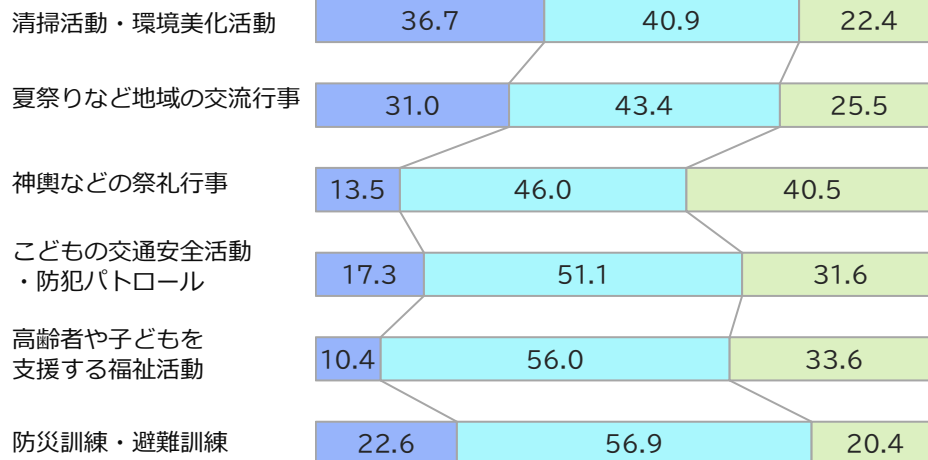


自治会に入ってよかったこと

地域活動への
興味・参加意欲

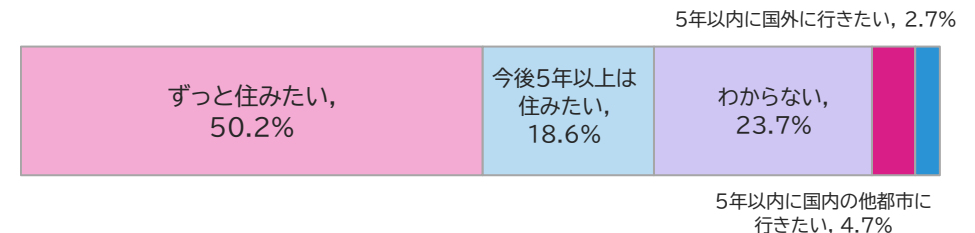
- 参加したことがある
■ 参加したことはないが、参加したい
■ 参加するつもりはない

(%) N=548

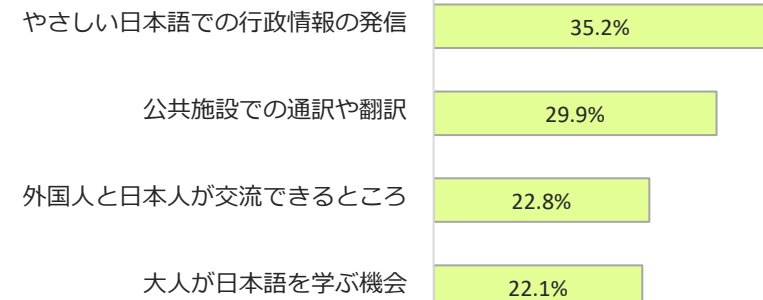


これからも高岡市に住みたいか

N=548



高岡市の生活であるとよいもの（上位4項目、複数選択）

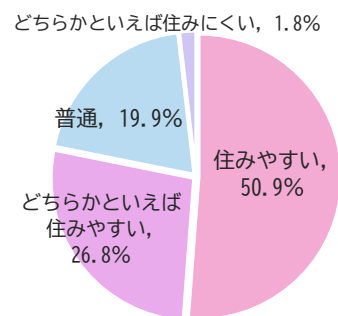


N=548

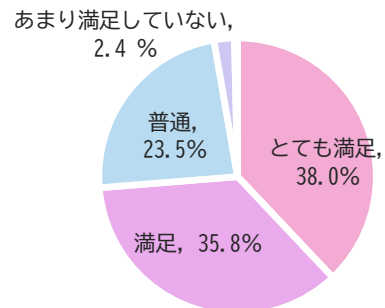
地域の行事・役割に参加しやすくなるためにあればよいと思うこと（自由記述）

- 参加してよいか、参加することが必要か、教えて欲しいです。
- 案内にイラストや写真の使用があると、外国人がより理解しやすくなると思います。
- 英語、またはやさしい日本語の表記があるといいと思います。
- ゆっくり話してくれたら、もう少し理解し、会話しやすくなると思います。
- ルールを説明してくれる人のサポートがあるとありがたいです。

高岡市の住みやすさ



多文化共生の満足度



高岡市や多文化共生についての自由意見（一部抜粋）

- ・高岡に住んでいて、とても幸せだ。父が亡くなった後、日本に来て暮らすようになり、私を温かく迎え入れてくれた。日本のコミュニティの皆さんに感謝している。(20 歳代、ブラジル)
- ・80 年代に来日してから今日まで、この国で暮らしている。私にとって日本は、まるで生まれ故郷のような場所だ。子供たちは皆ここで結婚し、孫たちも日本で生まれた。日本という国を非常に誇りに思っている。父は長崎出身の日本人で、時代と共に状況は大きく変わったが、私にとって日本は今でも素晴らしい国だ。この国と神に深く感謝している。(50 歳代、ブラジル)
- ・ここでの快適で安全な生活に感謝します。外国人労働者として第二の故郷のように感じます。(30 歳代、フィリピン)
- ・私は高岡市が大好きです。(20 歳代、インドネシア) (類似の高岡市への好意的な意見 40 件)
- ・日本人と外国人の共生をより円滑にするため、日々尽力している方々に感謝しています。敬意と献身、そして学びを通じて、地域の方々に恩返しできればと思っています。自分たちのアイデンティティを失うことなく、この国の文化を学びたいです。(60 歳代、ブラジル)
- ・日本の文化や市民を尊重し、住民としての義務もすべて果たしています。(30 歳代、ブラジル)
- ・私の家族は常に日本の法律と文化に従うように努めています。(30 歳代、ベトナム)
- ・日本の文化や生活・働き方を学び、自身をより成長させたいと思っています(30 歳代、ベトナム)
- ・私たちは日本が大好きですし、将来の平和で調和の取れた関係のために地域社会への役割は不可欠だと思っています。(30 歳代、フィリピン)
- ・地域活動への参加に非常に興味があり日本人住民と外国籍住民がお互いから学び、友好的な関係を築けるような言語交換の機会を企画したり、参加したりできれば嬉しく思います。(30 歳代、スリランカ)
- ・地域の住民とコミュニケーションをとって、日本語を学びたいです。(30 歳代、ブラジル)
- ・オンラインではなく実際の人から文化や言語についてもっと学びたいです。私は対面での交流がとても大切だと思います。(30 歳代、ロシア)
- ・外国人が日本語を学べる教室を増やしてほしいです。(30 歳代、中国)
- ・パンフレットにもっと多くのふりがなを使ってほしいです。(50 歳代、ブラジル)
- ・学校・病院にもっと通訳を配置してほしいです。(50 歳代、フィリピン)
- ・いまだに多くの差別が存在しています。(60 歳代、ブラジル)
- ・日本人の人々が外国人を差別しないことを願っています。(30 歳代、ベトナム)
- ・誤解や偏見によって不安を感じることなく、自分の行動をいちいち説明したり、正当化したりしなくても、安心して生活できる地域であってほしいと思います。(30 歳代、ブラジル)

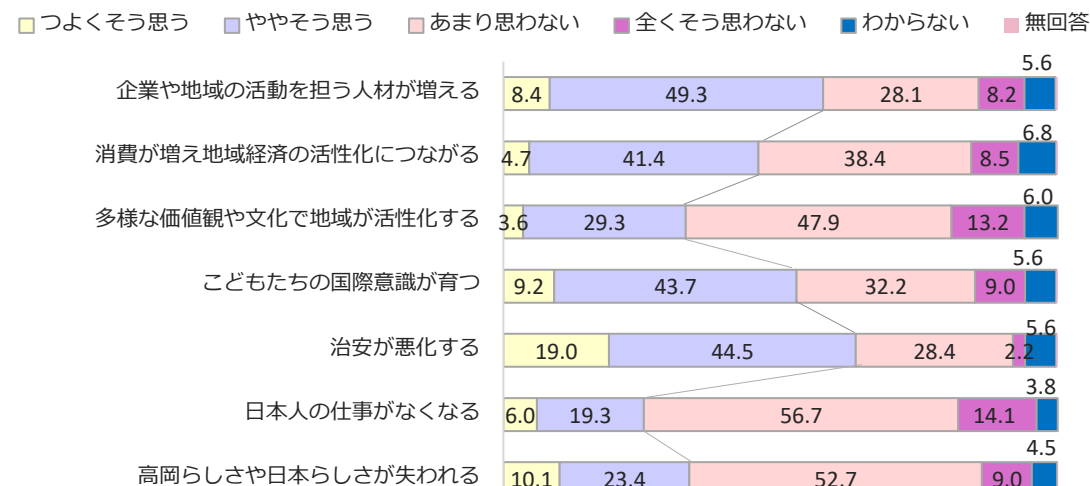
対象者
回答期間日本国籍市民 1,500 人（無作為抽出）
令和 8 年 1 月～ 2 月

期間

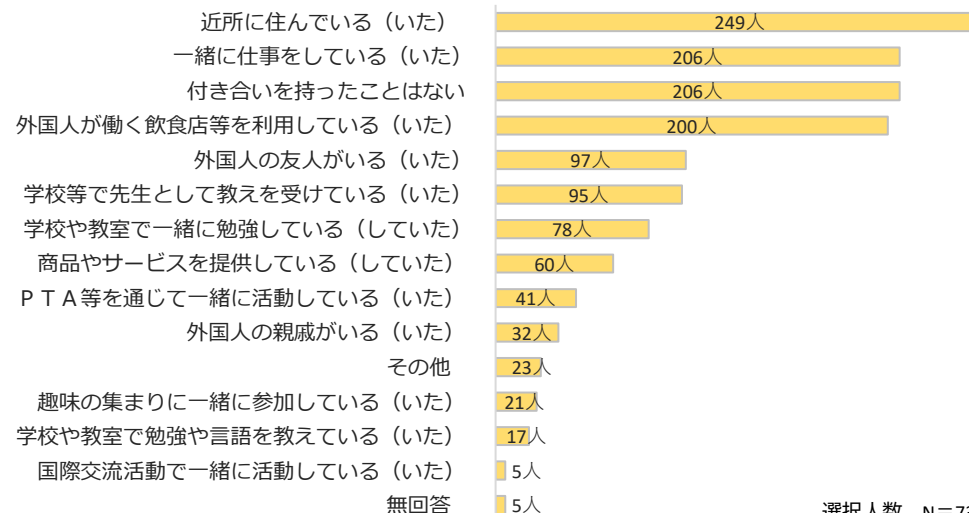
郵送配送。オンライン又は書面
有効回答 730 件：回答率 48.9%（不達数 6 件）

外国人が増える影響についてどう思うか

(%) N=730

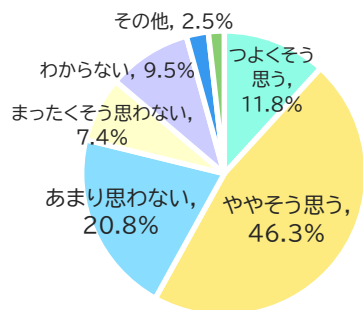


日常での外国人との関わり（複数選択）

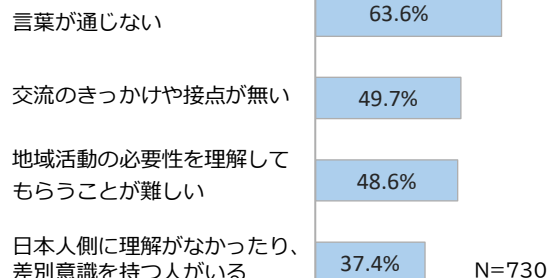


選択人数 N=730

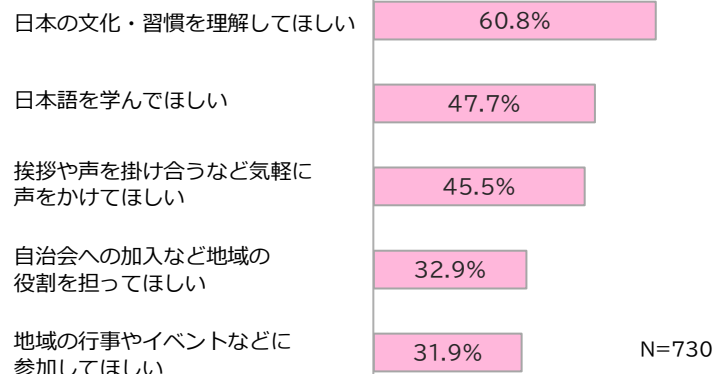
外国籍市民に地域活動に参加してほしいか



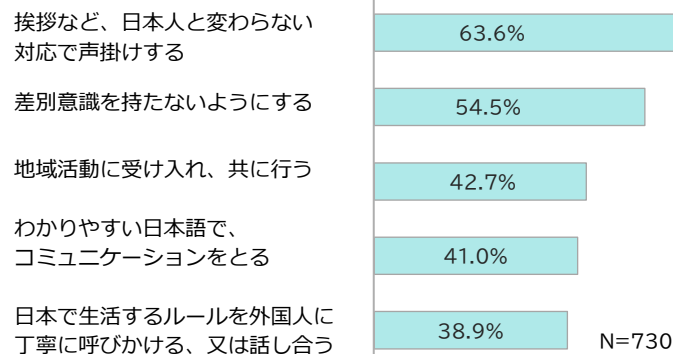
外国籍市民が地域の担い手になることの課題（複数選択）



外国籍市民と暮らしやすい社会にするため外国人にしてほしいこと（複数選択）



外国籍市民と暮らしやすい社会にするため自分ができること（複数選択）



〈多文化共生に関する自由意見（一部抜粋）〉

- 日常生活や災害時においては、言語の違いや文化の違いによる情報不足が、外国人住民のみならず地域全体の混乱につながる恐れがあります。行政情報については、多言語対応に加えてやさしい日本語を活用した分かりやすい情報発信を充実させる事が有効と考えます。ゴミ出し、防災、医療、学校案内など生活に直結する情報を整備していただきたいと思います。(50代)
- 「やさしい日本語」は多国籍の人たちだけではなく、全ての人たちにとって、よりよいことだと思います。(日本人にも)(70代)
- 外国人がよく訪れる職場でサービス業をしていますが、文化や習慣の違いのせいか迷惑をかけられる事がよくあります。認め合い共生していく事は時間もかかり、お互い努力が必要だと思いますが、これからの日本には必要な事だと思います。(50代)
- 高岡は外国人との接触経験の少ない地域と思うので、外国人に対する違和感を取り除く行政計画施策が必要だと思います。そこを省いて受け入れを急ぐと、閉鎖的な考えの多いこの地域ではいろいろな軋轢が生じると思います。(70代)
- 差別まで届かないまでも「無知」「無視」が現状ではないでしょうか。多文化共生とは、「日本人があたりかたかくやさしく」と口にしては始まりません。異なる背景を持つ他人との出会いを通じて、自分自身の中にある差別心や傲慢さを問い直し、共に人間として生きることです。制度やルール作り、アンケートも大切ですが、「共に生きる」という言葉の深い敬意と共感の土壌を育む日本人の方の教育も大切なのではないかと思います。(50代)
- 私の外国人へのイメージは悪いです。それは悪いイメージを持つニュースをよく見るからです。良い人もいると思うので、活躍などを紹介してみてもどうでしょうか。(30代)
- 夕方に外国籍の人が集まっていると、ちょっと怖いです。どこにどれだけの外国籍の人がいるのか、どの企業がどれだけ外国籍の人を雇用しているのか知りたいです。(60代)
- 高岡市民が制度を整えるだけでなく、外国籍の方々も日本の生活様式やマナーを学び、自立して社会に貢献しようとする姿勢が重要だと思います。単なる「援助」の段階から、お互いに権利と義務を尊重しあい、対等な立場で交流を深める段階へシフトしていくことを期待します。(50代)
- 日本人同士でも言えることですが、先住民が守ってきたことや、大切にしてきたことを壊さず、ルールを守ってくれる外国人であれば共生できると思います。(70代)
- 人口減少にともない、日本人だけで解決できない事が多く出ており、外国人の力が必要だと思う。(70代)
- 日本でのルールは守っていただきたい。そうしてくださるのなら、地域交流などを通して歩みよれると思います。外国の文化にも触れてみたいです。(30代)
- 多文化共生という考え方は不要と思います。行政が多文化共生を目的に税金を使い活動することに反対です。(60代)
- 日本人同士であっても多文化共生だと思うので、お互いが認めあえる文化となることこそ願っています。(50代)
- 少子高齢化と、働き手や地域の担い手の減少は、暮らしやすいまちづくりから遠ざかる原因になります。お互いの考えや習慣を理解しながら、犯罪が起きないよう共に生きていける社会になればと思います。(60代)
- 外国籍市民の地域での疎外感を感じます。自治会などへの加入を促すように外国籍市民を優しく誘導したり、地域での祭事に参加しやすくしたりするなど、市が外国籍市民の地域での立ち位置を確立するべき(10代)
- 元々住んでいる日本人に、我慢を強いるようなことはしないでほしいです。外国人を優遇するのではなく、日本人と平等に対応してほしいです。(40代)
- 日本での暮らしのルールを随時紹介するよう、企業や地域に働きかけて欲しいです。(40代)
- 外国籍の方を減らせとは考えていませんが、外国籍の方のために、本来提供すべき日本人に向けたサービスが悪化する事は本末転倒であると考えます。(40代)
- 外国籍の方々の犯罪などが心配です。治安が悪くならないような町になって欲しいです。(60代)
- 同じ市民と考える事が必要。国内でも、地域によって違いがあり、外国人の考えが違うのは当たり前です。(60代)
- 昨今世界中で移民問題がある中で安易に外国人を受け入れる事には大反対です。とくに犯罪の増加や宗教の問題を危惧しております。日本に住む日本人が我慢を強いられる事が絶対ないようにしてもらいたいです。ただ日本に来る外国人が全て悪いわけではなく、しっかり日本のルールを守り文化を尊重する方は来てもらっても結構です。(50代)
- みんなで作り上げていく地域なので、活動にも関わって貰いたいが、世代によっては外国籍に対して変な偏見を持っている人がいたり、地域の文化を一方的に押し付けるのも違うと感じます。互いに共生していく地域を作るためには、互いの価値観も知る必要があると思います。(20代)

高岡市多文化共生に係るアンケート 回答結果

概要版No.5 自治会長

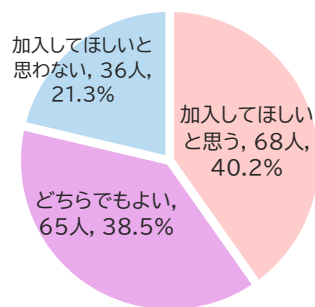
対象者 単位自治会長 605 名

調査期間 令和 8 年 1 月～2 月

回答方法 オンラインまたは書面

有効回答 170 件 : 回答率 28.1%

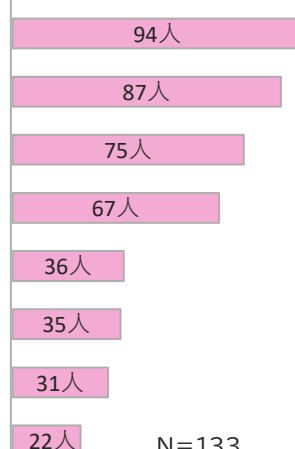
外国籍市民の自治会加入



N=169

「加入してほしいと思う」「どちらでも良い」 選択者の理由（複数回答）

コミュニケーション不足による
トラブル防止のため
地域のルールを理解のため
地域の交流を促進するため・
共に生活し互いに支え合うため
自治会に国籍は関係ないため、
高岡市民であるため
ほぼ全世帯が加入しているため
地域住民が多様な文化や考え方
にふれる機会を増やすため
地域の担い手不足のため
一方通行の支援ではなく、本人
自ら相談等に来てもらうため



N=133

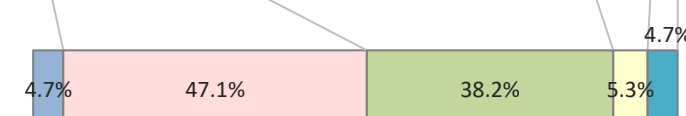
外国籍市民の地域への影響「外国人が増えると」

N=170

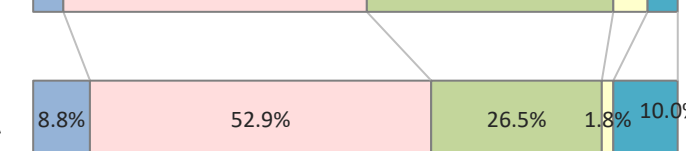
地域社会を担う人材が増え、
地域の活性化につながると
思いますか



多様な価値観や文化に触れる
機会が増えると思いますか



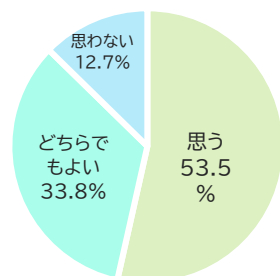
治安が悪化すると思いますか



1 強くそう思う
2 ややそう思う
3 あまりそう思わない
4 全く思わない
5 わからない

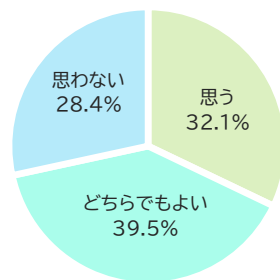
【外国籍市民の居住状況別】自治会に加入してほしいか

世帯員全員または一部が
外国籍市民の世帯が
住む自治会



N=71

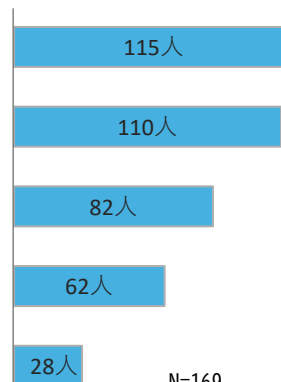
域内に外国籍市民が
住んでいない自治会



N=81

外国籍市民が地域社会の一員として 活躍するために必要なこと（複数選択） ※（複数選択）上位 5 項目

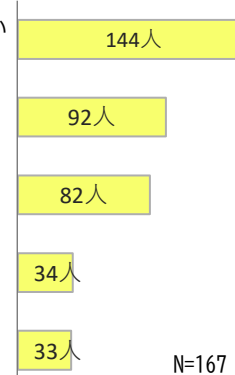
日本で生活するルールを守る
よう呼び掛ける
日本の文化や習慣を教える
差別を持たないようにする
外国の文化や習慣を理解する
地域活動に参加を呼び掛ける



N=169

外国籍市民が地域社会の一員として 活躍するために自治会としてできること ※（複数選択）上位 5 項目

ゴミ出しや近所づきあい
などの生活情報の提供
自治会主催のイベント
（行事・防災訓練）
自治会の紹介・加入依頼
交流会の開催
外国籍市民に配慮した
既存のルールの見直し



N=167

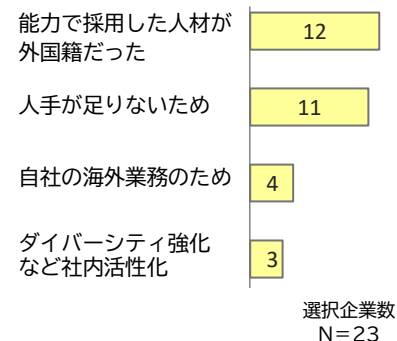
外国籍市民を雇用する企業に、望むこと

- ・技能実習生を雇用する企業も参加して地域活動に参加する形を作れば良いのでは。
- ・雇用する外国人材を自治会や住民とつなぐ機会を作ってほしい。説明会など。
- ・地域活動の大切さを企業が率先して伝える活動をしてほしい。
- ・地域との連携をしっかりと取る姿勢を持つことが大切だと思う。
- ・企業規則の厳守を指導するのと同様に、地域のルールを厳守するよう指導してほしい。
- ・雇用企業に直接お願いすることもあるが、交通ルールを時々守っていないことがあるので、守ってほしい。
- ・雇用企業の担当者が居住予定の外国籍者と一緒に自治会長へ挨拶訪問してほしい。
- ・トラブルに対する企業側の窓口を明確にしてほしい
- ・外国人居住者の情報を自治会に知らせて欲しい。自治会への加入を勧め、仲立ち、サポートをして欲しい。
- ・企業の社宅、寮として自治会内の空家を利用される場合、先に連絡をしておいてほしい。
- ・災害時の避難訓練等を共同で実施することから、交流の機会を持ちたい。
- ・単位自治会から労力提供等の呼びかけがあれば、協力してほしい。

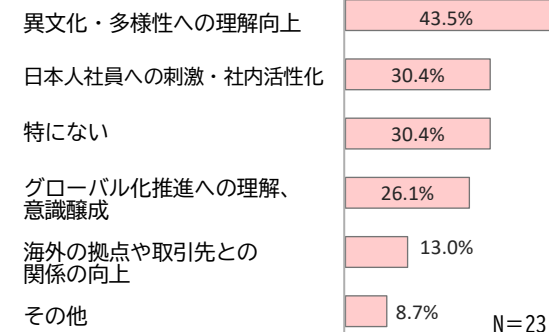
外国籍市民に対応や説明をする際に、効果があったと思うこと

- ・自治会のルールや決まり事を文章にして配布する。
- ・イラストやカードを活用してコミュニケーションを図る。
- ・転入されたら、班長さんに訪問してもらい、その後すぐに会長訪問する。自治会の規定など説明兼ねて挨拶にいったほうがよい。連絡先も教える。親近感が生まれる。
- ・スマホの翻訳機能を活用して会話したらある程度理解をしてもらえた。
- ・市役所発行のイラスト付きごみ収集ガイドを渡したら、理解が進んだ。

外国人材雇用の理由（複数選択）



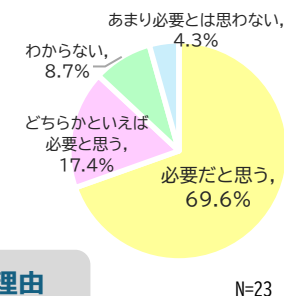
外国人材雇用の社内への好影響（複数回答）



外国人従業員が、地域社会の一員として地域の自治組織との繋がりを深めるためにできること

- ・自治会長を含めた地域との橋渡し
- ・日本文化や生活環境を理解させて、法令遵守でルールを守り、日々あいさつを徹底し、自治組織に不安なく共生できるように指導教育する。
- ・企業、外国人社員が一体となり地域社会での活動に参加していく

外国人従業員の地域防災訓練参加



外国人従業員が地域と繋がりをもつことを必要と考える理由

※「どちらかといえば必要」の回答も含む

- ・地域における風習・習慣など、生活するために知っておいたほうが良いことが多いため
- ・企業だけでは外国人従業員の日常生活の面倒を見るのも限界があります、地域でのコミュニケーションを円滑にすることで企業にも地域の声が届き外国人従業員へのフィードバックができます。
- ・人にもよりますが、日本人よりも地元になじみがあると思っています
- ・お互いを理解しあい、地域社会の構成員として協力し合い共生するために必要
- ・地域社会の一員であるため
- ・相互理解がない状態では、外国人住民に対して漠然とした不安を抱かれがちですが、交流を通じて「個人の顔」が見える関係を築くことで、そうした懸念は安心感へと変わります。真面目な気質を持つ従業員たちが地域の一員として認められることは、日常的な共生のみならず、地域防災の観点からも極めて重要です。互いに助け合える関係性を築くことが、結果として地域全体の安全・安心に寄与すると考えています。

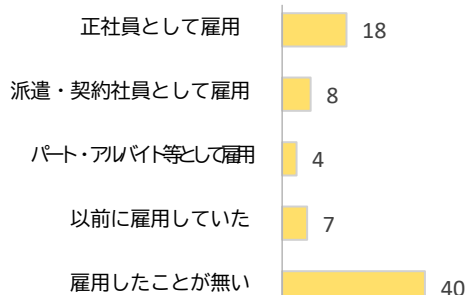
調査協力 高岡商工会議所会員企業 123社

回答方法 オンライン

調査時期 令和8年2月～3月

有効回答 69件：56.1%

外国人材の雇用について（複数選択）



選択企業数 N=69

外国人材の在留資格（複数選択）

